

事務事業名		27800 観光事務費(観光物産協会への支援)	予算科目	会計	款	項	目	所管課	商工観光課	担当班	観光班	
基本施策		3 観光の振興	根拠法令	一般	7	1	3	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開		7 観光情報発信の推進	戦略事業	33	旭市観光物産協会への支援							
施策の展開			戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	観光事業者や観光イベントを開催する実行委員会が加盟している観光物産協会を支援するとともに、観光物産協会と連携して観光情報等の効果的な発信、PRを行い観光客の誘致を図る。観光物産協会はイベント等でのPR活動補助を行う。 職員の業務内容: 観光協会等への補助金交付	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
旧市町にあった観光協会が市町村合併後も並立しており、市からの助成は各団体ごとに行われていた。そのため、重複する経費や事務手続きを見直すことができず、経費や時間のロスが発生していた。	平成27年に旭市観光物産協会設立。従来の観光協会は下部組織として内包され、新たに協会事務局の事務員を採用、事務及び協会会員の行うイベントのサポートにあたる。これにより、市商工観光課と物産協会の業務の分担が可能となり、従来以上に市の観光PRや情報発信が行えるようになった。	「物産協会の具体的な活動が見えない」や「物産協会へ加入することのメリットがわからない」などの声が会員からもある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算) 単位:千円						
1.補助金等	13,601	旭市観光物産協会補助金				
5.その他	1,298	旅費・需用費・役員費・負担金・公謀費など				
② 特定財源の内訳(1年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金						
2.都道府県支出金						
3.地方債						
4.その他						

事業費	1. 補助金等	千円	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
	5. その他	千円	711	754	555	1,298	882
事業費計(A)		千円	11,199	12,354	14,995	14,899	16,634
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	500				
	5. 一般財源	千円	10,699	12,354	14,995	14,899	16,634

前年度増減理由: マップル旭を作成しないため印刷製本費が減った

従事職員数: 常時 人 最大 1人 × 12日 = 延べ 12人

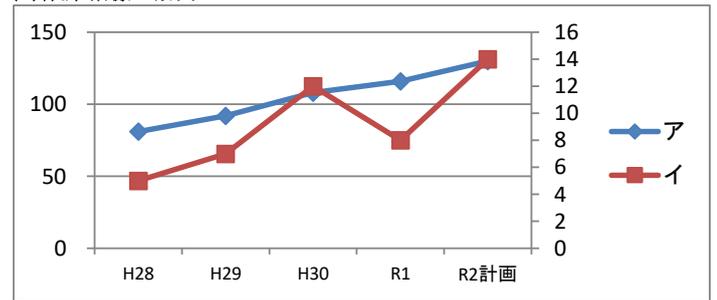
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動) 観光物産協会への助成	ア 観光協会等への助成額	千円	11,727	11,600	14,440	13,601	15,752
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象意図: 観光協会、宿泊組合 観光協会等を支援することにより、民間主導の観光イベント開催、PR活動が積極的に行われ市観光発展の一翼を担う。 対象意図: イベント等に参加する市内外の方 市内外の方に旭市の魅力を広く知ってもらう。	ア 観光協会、宿泊組合加入者数(1団体も1人とカウント)	人	81	92	108	116	130
		イ 観光物産協会職員によるイベント等でのPR活動日数	日	5	7	12	8	14

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	成果向上余地	評価結果	コスト比率
	かなりある		下位 1/3
	ある程度ある		中位 1/3
大きい	②	①	上位 1/3
普通		②	
小さい		③	(5)
		④⑤	
		⑥	
		⑦⑧	
		⑨	

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	数値減=成果向上	比較
	(低下の場合、その理由) 前年に比べて参加できるイベントの数が減ったためだが、H28、29よりは多く、長い目でみれば「向上」していると思われる。	25	11	16	8	14
③ 今年度取組事項	時期	内容		今後の方向性	比較	
(2年度に取り組む主な事項について記載)	通年	・市と連携した観光PR ・レンタサイクル事業の積極的なPR ・「あさひの食」の活用を推進する事業展開		<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	28年度 1 29年度 2 30年度 5 1年度 △4 2計画 6	